

件 名	地域公共交通について
受付日	令和8年6月30日
ご意見・ご提案 の概要	現在、名鉄広見線の新可児～御嵩間が廃止の方向で進んでいるにもかかわらず、県はLRT構想を立てている。岐阜市周辺の賑わい創出は理解できるし重要な課題だが、廃止になりそうな路線を先に救済すべきである。 名鉄広見線新可児～御嵩間は通勤や通学で利用する住民がおり、沿線住民にとって生活上なくてはならない路線である。 県営として鉄道を維持する選択もできるはずだ。 県は、県内の鉄道廃止問題や岐阜県全体に目を向け、周辺自治体だけの問題と捉えずに岐阜県内の問題として考え、廃線にならないよう積極的に関わってほしい。
県の考え方	地方の鉄道は、人口減少に加え、住民のライフスタイルの動線と合わなくなってきたこともあり、利用者は右肩下がりで、大量輸送という鉄道本来の役割を果たせないため、経営は一層厳しさを増していくと予想されます。 一方で、行政による赤字補てんは右肩上がりに増えており、今後さらに人口減少が見込まれる中で、鉄道の強みを生かすには、いかに外部から人を呼び込むかという観点が必要であり、沿線市町がお考えのまちづくりと一体的に考えていかなければならないと思います。 県としましても、引き続き、そのような観点をもって沿線市町と一緒に考えてまいります。
担当課	リニア未来都市局 公共交通課